

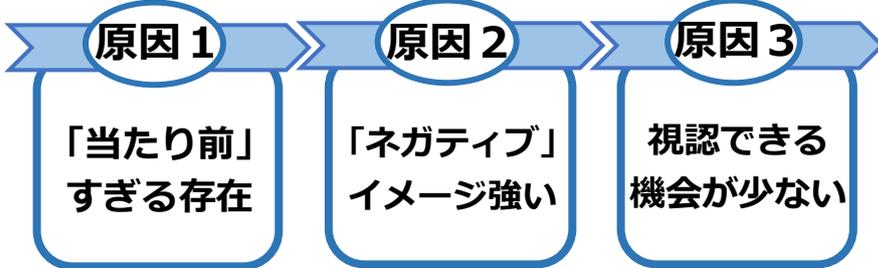


ズラボー！下水道！！

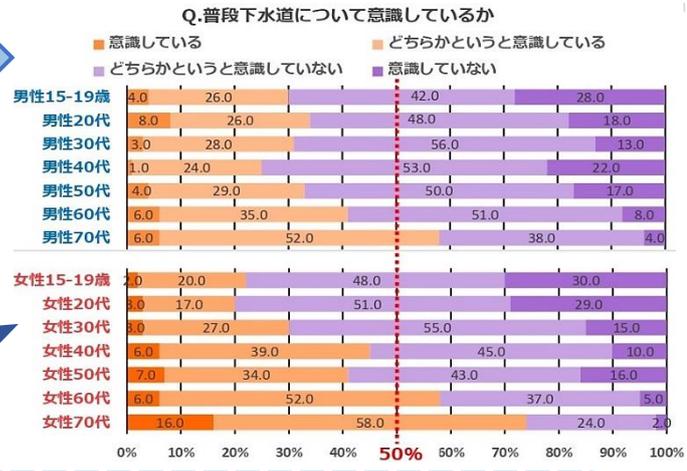


～高校新科目「総合的な探究の時間」授業カリキュラム提案～

【課題】 下水道が市民から全く興味を持ってもらえない



若い世代ほど、下水道に関する意識が低くなる傾向にある！ (国土交通省「下水道に関する意識調査」より)



企画概要

高校生が小学生に下水道自由研究教室を企画・開催する総合探究授業



自由研究の参考になり 夏休みの お悩み解決!!

知識定着! 成果が目に見え モチベ UP!!



WIN×WIN×WIN×WIN

関係を広げていこう!



総合探究授業の不安・負担 軽減!

公民連携で 下水道の 広報ができる!



企画の流れ

	フェイズ1	フェイズ2	フェイズ3	フェイズ4	フェイズ5	フェイズ6
	導入授業	SDGs×下水道	下水道施設見学	企画立案	自由研究教室 開催	振り返り
活動	新潟市下水道部の方より、『公共と協働』=市民と行政が主役となって地域課題解決に取り組むことの重要性 ・『下水道広報の必要性』=下水道の現状、施設の老朽化と下水道を守るための市民の理解促進の出席授業を行う。	新潟法律大学校Gゼミが、Z世代の興味関心が高いSDGsと下水道の繋がりを説明する。 ↓ 下水道が「サステナブル」な事業であることを周知させる。	探究学習のプロセスの一部である体験活動として、新潟市中部下水処理場で1日見学を行う。	新潟法律大学校Gゼミが自由研究教室を紹介し、取り組みや行った実験内容を説明する。 ↓ 高校生が、これまで学んだ(フェイズ1～3)下水道の必要性を広報するための実験・ミニ授業を考える。	夏休みの期間に、高校生が小学生に対して、親子参加型自由研究教室を開催する。	自己分析を行い、成長した点や反省点をまとめる。 ↓ 班ごとに発表 ↓ 学内で発表

